第５１回　廃棄物対策専門委員会　議事要旨

日時：2024 年 12 月 6 日（金）13：00～16：30
場所：オンライン開催

1．固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発の進捗状況について
　NDF 事務局から、「性状把握」、「保管・管理」および「処理技術（その 1）」についての固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発の進捗状況を説明した。

　専門委員からの主な意見は以下のとおり。

○ 全体的に着実に進展していることがわかった。

○ 難測定核種である C-14 及び I-129 の分析については、両者の相関を把握するために同一の高線量ガレキ試料等を用いて分析を実施する必要があるのではないか。

○ 金属溶融対象物である廃車両の分析点数をベイズ推定計算により算出しているが、精度を高めるためには廃車両の位置情報等の付加的な情報も組み合わせながら検討していく必要があるのではないか。

○ 炭酸塩スラリーを対象とした低温実規模処理の適用性に関する検討は、ピンポイントの配合で実規模試験を実施しているため、実際の炭酸塩スラリーの性状が有する不確かさを考慮した時に良好な固化体を同様に作製できるか心配である。これまでに取得したデータや知見についてはデータベースとして取りまとめ、不確かさについても議論できるようにして欲しい。

2．その他
　次回廃棄物対策専門委員会について。

以　上